

## 平成27年度のJCM事業(7月9日付申請)

## 1) JCM事業の概要

※ 二国間クレジット制度 (Joint Crediting Mechanism : JCM) は、これまで途上国における温室効果ガス (GHG) の削減に貢献する制度として活用されてきた「クリーン開発メカニズム (Clean Development Mechanism)」を補完するため日本政府が提案した新しい制度で、現地で削減した温室効果ガス量の一部が日本国の削減分とみなすことができます。また、温室効果ガスの排出削減は、地球温暖化対策に寄与します。

## 2) 事業名：バンドン市・川崎市の都市間連携による低炭素都市形成支援事業

## 3) 事業概要

平成26年度FS事業を通じて得られたニーズを踏まえて、以下の事業を計画している。

## 事業1：商業施設におけるエネルギー管理システム (EMS) 導入

- 直流給電技術の導入による電力ロスの削減
- 省エネ機器への更新 (LED照明、高効率空調、高効率冷凍機)

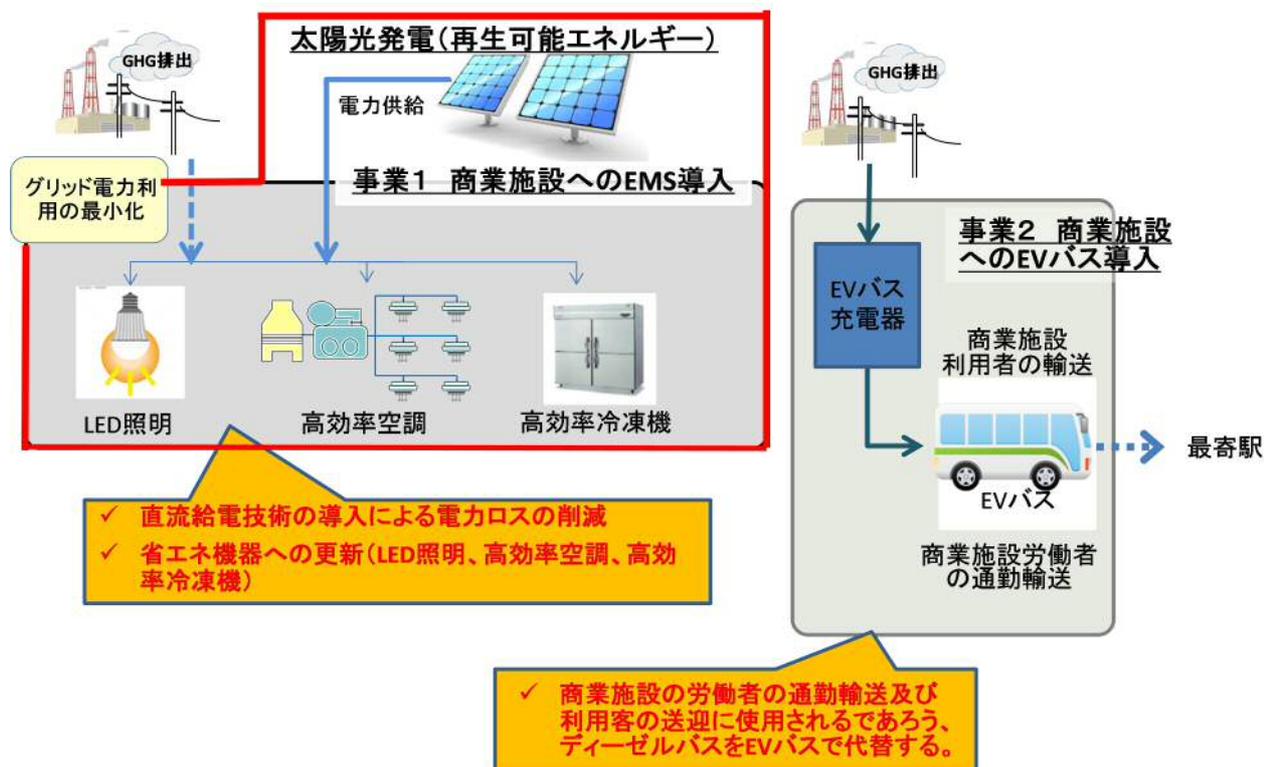
## 事業2：商業施設におけるEVバス導入

- 商業施設の労働者通勤輸送及び利用客の送迎に使用されるディーゼルバスをEVバスで代替する。

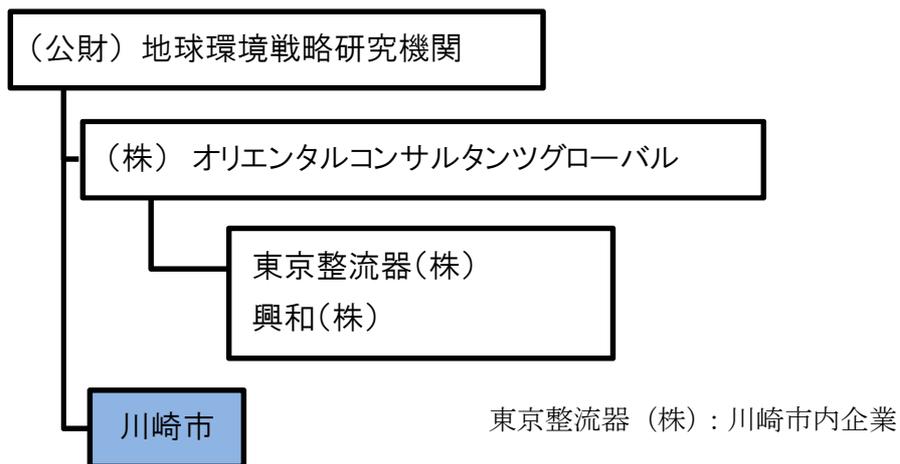
## 4) 実施体制

- 統括機関：(公財) 地球環境戦略研究機関
- 共同実施者：(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル、川崎市
- 協力組織：東京整流器 (株)、興和 (株)、(株) ピューズ

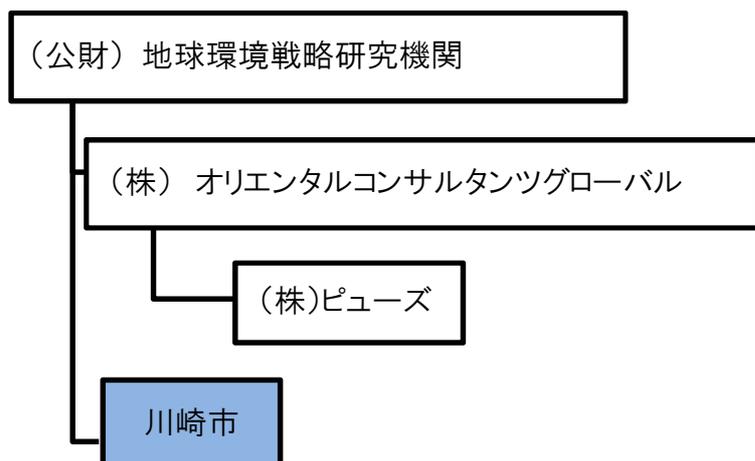
## 5) 事業の全体像



**事業1（省エネルギー分野）：商業施設におけるエネルギー管理システム（EMS）導入**



**事業2（交通分野）：商業施設におけるEVバス導入**



1) 事業名：バンドン市・川崎市の都市間連携による低炭素都市形成支援事業

2) 事業概要

**事業1：「横断的」分野：全体の取りまとめ、「低炭素都市計画」の策定支援事業**  
 バンドン市が実施する低炭素都市計画作りを支援するとともに、それとの整合を図りながら事業2及び3の計画策定を支援する。

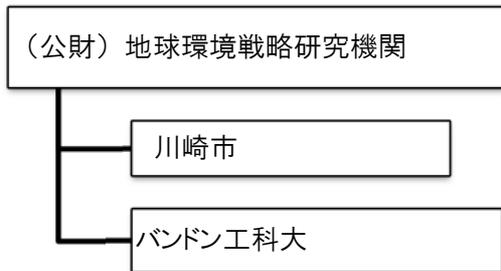
**事業2：「省エネルギー」分野：街灯のLED化及び建物省エネ化設備の導入事業**  
 先行例（ジョグジャカルタ市やマカサル市）を参考にしながら、省エネ型街灯（LED）及び建物の省エネ化設備を導入し、市全体の電力使用量の20%削減を目指す。

**事業3：「水・廃棄物」分野：食品残渣等を利用したエネルギーの創出事業**  
 バンドン市では、都市ごみの大半を「有機性ごみ（生ごみ）」と「腐敗槽汚泥」が占める。これらを合わせて、メタン発酵処理を行い、同時にバイオガスと液肥を製造・再利用することにより、衛生改善と温室効果ガス削減のコベネフィットの実現を目指す。

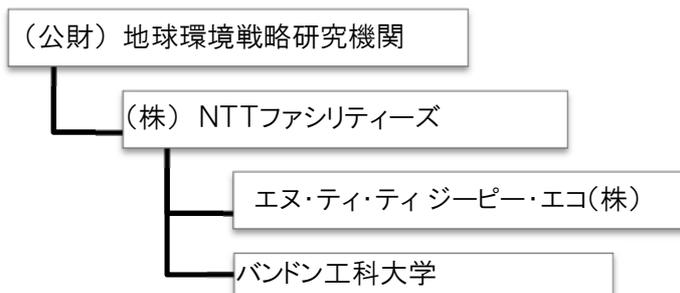
3) 実施体制

- 統括機関：（公財）地球環境戦略研究機関
- 協力組織：（一財）日本環境衛生センター、(株)日立造船、(株)NTTファシリティーズ、エヌ・ティ・ティジーピー・エコ(株)、川崎市

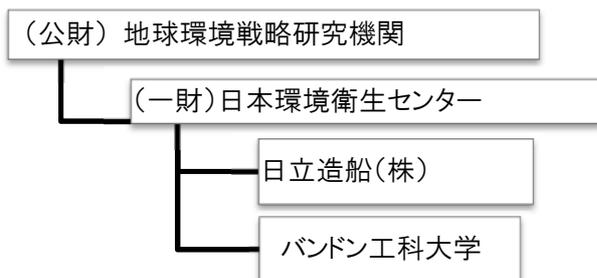
事業1（横断的分野）：事業全体の取りまとめ、「低炭素都市計画」の策定支援事業



事業2（省エネルギー分野）：街灯のLED化・建物省エネ化設備の導入事業



事業3（水・廃棄物分野）：食品残渣等を利用したエネルギーの創出技術の導入事業



※ 二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）は、これまで途上国における温室効果ガス（GHG）の削減に貢献する制度として活用されてきた「クリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism）」を補完するため日本政府が提案した新しい制度で、現地で削減した温室効果ガス量の一部が日本国の削減分とみなすことができます。また、温室効果ガスの排出削減は、地球温暖化対策に寄与します。

## ○JCM事業の枠組み

環境省のJCM事業の枠組みでは、事業アプローチを従来の工場・プラントなどの単独の事業から、都市や地域などの面的な形での「都市丸ごとアプローチ」へ展開し、大規模JCM案件形成事業を実施しています。

